

東京都脳卒中救急搬送体制 実態調査報告書

平成 23 年 3 月

 東京都福祉保健局

はじめに

脳卒中は日本人の死亡原因の第3位、要介護となる原因の第1位を占めており、発症後の迅速・適切な早期治療が救命及び後遺障害の軽減に不可欠です。

東京都では、平成20年4月に「東京都脳卒中医療連携協議会」を立ち上げ、都内全域での脳卒中救急搬送体制の構築と、急性期、回復期、維持期（在宅生活期）それぞれの症状に応じた切れ目のない医療提供体制の整備に向けて検討してまいりました。

そして、平成21年1月に独自の基準に基づき、東京都脳卒中急性期医療機関を認定し、同年3月には、脳卒中救急搬送体制を都内全域に構築いたしました。

脳卒中を発症した方が、速やかに適切な急性期治療を受けられるよう、救急隊が脳卒中の疑いの有無を判断し、脳卒中急性期医療機関に搬送されるよう体制を確保しています。

このたび、制度の開始から1年を経過したことを機に、救急搬送体制の運用状況を評価検証するため、「脳卒中救急搬送体制実態調査」を行いました。

調査は昨年2月から3月にかけての1週間、医療機関及び東京消防庁のご協力を得て、全ての救急搬送を対象に実施し、本報告書は、その中から脳卒中の事案（「疑い」を含む）について、調査結果を分析し、まとめたものです。

本報告書が脳卒中の救急搬送体制を充実させていく基礎資料として、活用されることを願います。

最後に、本調査にご協力いただきました東京都医師会、医療機関、東京消防庁等、関係各位に心から御礼申し上げます。

平成23年3月

東京都脳卒中医療連携協議会 会長 有賀 徹

目次

第1章 東京都脳卒中救急搬送体制の概要

1. 東京都における脳卒中の医療連携体制3
2. 東京都脳卒中救急搬送体制4

第2章 東京都脳卒中救急搬送体制実態調査の概要

1. 調査の目的9
2. 調査内容9
3. 回答状況 10

第3章 脳卒中と診断された患者

1. 性別、年代 15
2. 疾病別の割合 17
3. 既往症 20

第4章 東京都脳卒中救急搬送体制

1. 搬送時間 27
2. 選定 40
3. 救急隊の脳卒中判断 48

第5章 治療

1. 治療	57
2. 経過	63
3. 転帰	65

第6章 まとめ

.....	71
-------	----

第7章 資料編

1. 東京都脳卒中救急搬送体制	77
2. 二次保健医療圏別データ	84
3. 東京都脳卒中医療連携協議会	98
4. 東京都における普及啓発事業	102